



2023 年度事業報告

自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日

2023 年度上半期まで新型コロナウイルス感染症の影響により人の集まりが制限され、通常総会は電磁的手法（電子メール）による審議、議決で実施され、ご承認いただきました。下半期には人が集い、交流する機会を積極的に設けて、各種委員会や食品包装シンポジウムを対面形式で開催しました。当協会も WEB 会議、対面形式、ハイブリットと夫々の良い面を活かした運用を行い効率的、効果的な協会活動を図りました。

個々の協会活動につきましては、諸活動のベースとなる会報は当初の予定通り 4 回、WEB での発行を行い、伝え方、見せ方の工夫を進めました。年に 6 回と最も開催数が多い食品包装セミナーは環境や機能性など旬なテーマを選定し WEB 会議で実施しました。

当協会の支柱事業である食品包装学校を 5 月に開校し、講義は主にオンデマンド配信で実施し、対面形式の講義、行事を交えて実施しました。人材育成研修（初級）は 9 月には WEB 会議、1 月にはオンデマンド配信の形式で夫々 3 日間開催しました。

Next Package 展示会は 11 月に出演企業 28 社、入場者 337 名で開催しました。実物を展示し、手に取り、相互に会話する有意義な場とすることができました。食品包装シンポジウムは「食品包装技術の脱ガラパゴス化」をテーマに 2 月に対面形式で開催し、今後の食品包装に向けての有意義な情報発信をしました。

協会運営の場となる事務所を耐震性や建物内移動の円滑性を考慮し移転しました。床面積も増えたので小人数の事業や集会に活用を進めます。セキュリティと利便性向上を目的に当協会のホームページを改修しました。安全で見やすく使いやすく改良できました。会計につきまして、表計算ベースからクラウドの会計ソフトに移行し正確、安定な会計としました。これをベースにインボイス制度、電子帳簿法、消費税課税事業者移行に対応しました。

会費収入は 7,974 千円と予算比 393 千円未達でした。目標に対して新会員増強が不十分でした。事業収入は個別の事業では食品包装学校が 3,685 千円、人材育成研修（初級）が 2,871 千円と大きく、事業収入全体では予算 8,380 千円に対して実績 8,705 千円となりました。事業費支出は予算 8,110 千円に対して実績は 7,633 千円でした。総収入は予算 16,747 千円に対し、実績は 16,679 千円でした。事務所移転関連費用とホームページ改修費用を含む総支出は予算 20,389 千円に対し、実績は 19,963 千円でした。その結果、総利益は予算▲3,642 千円に対して実績▲3,284 千円とマイナス幅を圧縮できました。

今後も経費節減と効果的な費用投入により収益の安定化と会員サービスの強化に努めます。食品ロス、環境問題、資源問題、食品安全などの継続的課題の解決に向けて食品包装に関する情報発信や技術支援、食品包装人材の育成を実施し、会員の皆様、包装業界、社会と生活者の皆様へ、より

一層の貢献をしたいと考えております。会員の皆様方にはこれまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023 年度事業実施報告

登録会員数移動状況

正会員（団体）

2023 年 4 月 1 日	100 社
2024 年 3 月 31 日	106 社 [新規入会 8 社] [退会 2 社]
	<入会>
	丸正(株)、(株)サンエー化研、キッコーマン食品(株)、 (株)高木包装、富士機械工業(株)、UCC 上島珈琲(株)、 まつやセロファン(株)本社工場、ダイプラ・ウィンテス(株)、
	<退会>
	アサヒクオリティードイノベーションズ(株)、 キャディ(株)、

賛助会員

2023 年 4 月 1 日	10 社
2024 年 3 月 31 日	10 社 [新規入会 0 社] [退会 0 社]

正会員（個人）

2023 年 4 月 1 日	17 名
2024 年 3 月 31 日	22 名 [新規入会 5 名] [退会 0 名]
	<入会>・北澤裕明氏、小林 光氏、木野元氏、手嶋寿光氏 林 文彦氏

名誉会員

2023 年 4 月 1 日	9 名
2024 年 3 月 31 日	9 名

2023 年度実施した諸事業、委員会の状況

定時社員総会	1 回 (6/12 WEB 開催による審議・議決)
包装界合同新年会	1 回 (1/9 ホテル椿山荘東京にて開催)
通常理事会	2 回 (6/12, 1/26 WEB 開催による審議・議決)
諸事業	
・第 2 期食品包装学校開校	(5 月開校～3 月終了式)
・会報“食包協”ホームページ掲載	4 回 (会報 178 号、179 号、180 号、181 号発刊)
・食品包装セミナー	6 回 (6/20, 7/19, 10/25, 11/22, 1/24, 3/13、実施)

- ・食品包装人材育成講座【初級・3日間】
 - 1回目 オンライン開催 (9/12、9/19、9/26)
 - 2回目 オンデマンド開催 (1/15～、1/22～、1/29～)
- ・第6回 Next Package2023 展示会 1回 (11/9 秋葉原 UDX にてリアル開催)
- ・第55回食品包装シンポジウム 1回 (2/28 北とぴあにてリアル開催)
- *食品包装検定、勉強会予定するも未実施。

委員会実施状況

運営委員会 6回 (Web 併用形式による)
各委員会 延べ 30回 (Web 併用形式による企画・立案)

2023 年度第 1 回通常理事会

2023 年度運営方針、2023 年度事業計画・収支予算 (案) につき WEB 開催による議決(6月12日)により、賛成多数でご承認頂きました。

2023 年度定時社員総会

2023 年 6 月 30 日 (WEB 開催による議決・承認；正会員 124 名内、ご出席 20 名、委任 51 名 計 71 名)

- 第 1 号議案 2022 年度事業報告及び収支報告承認の件
- 第 2 号議案 2023 年度運営方針(案)、事業計画(案)及び収支予算(案)審議の件
- 第 3 号議案 2023 年度役員改選・各委員会委員一部改選に関する件
- 第 4 号議案 報告事項：賛成多数にてご承認頂きました。
各議案とも賛成多数で原案通り承認された。

記念講演：石谷理事長 「考えて見よう、食品包装と環境」

2023 年度第二回通常理事会

2023 年度事業計画・活動状況及び年度収益見込みについて
WEB 開催による議決 (2024 年 1 月 26 日)：賛成多数にてご承認頂きました。

実施された事業活動状況

1. 会報：4 月：178 号、7 月：179 号、10 月：180 号、1 月：181 号計画通り掲載

1-1 第 178 号 (4 月発刊)

<広告>食品包装学校の第一期を無事終了して (パスワード無)

日本食品包装協会 理事長兼学校長 石谷 孝佑 氏

* 日本食品包装協会会報 第 178 号 (2023 年 4 月号) ご案内 (パスワード無)

日本食品包装協会 広報活動委員会委員長 北澤 裕明 氏

・「(一社)日本食品機械工業会のご紹介と活動について」

一般社団法人日本食品機械工業会 専務理事 谷澤 俊彦 氏

・「100%自然由来の生分解性樹脂を使用した包材の展開」

味の素株式会社 高橋 和也 氏

伊藤忠商事株式会社 谷本 光紀 氏

伊藤忠プラスチック株式会社 小林 聡 氏
東洋インキ株式会社 宮川 匠 氏
東洋インキ株式会社 門脇 亮 氏

- ・「液体滑落技術の食品容器への適応可能性」
物質・材料研究機構国際ナノアーキテクニクス研究拠点
独立研究者 天神林 瑞樹 氏

- ・「静岡県における青果物の輸出拡大に関する取り組み」
静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部
生産科学科 講師 池ヶ谷 篤 氏

1-2 第 179 号（7 月発刊）

- * 食包協会報 第 179 号（2023 年 7 月）ご案内（パスワード無）
日本食品包装協会 広報活動委員 橋本 香奈 氏
- ・「分別塗工方式による新規無溶剤型接着剤（DUALAM）」
DIC 株式会社 パッケージングマテリアル製品本部 川崎 徳士 氏
- ・「パルプモールド需要の最新動向と新製品」
The Molded Fiber Market Outlook / Development, Trends, and new product
日本モールド工業株式会社 代表取締役専務 石原雄大 氏
- ・「運送事業の現況と課題」
株式会社エスワイプロモーション
ローリー事業シニアアドバイザー 原岡洋之 氏
- ・「公益財団法人流通経済研究所のご紹介と活動取り組み等について」
公益財団法人流通経済研究所 専務理事 加藤 弘貴 氏

1-3 第 180 号（10 月発刊）

- * 食包協会報 第 180 号（2023 年 10 月）ご案内（パスワード無）
日本食品包装協会 広報活動委員 笹生 勝也 氏
- ・「最近の包装に関連する法令や規制の国内外の動向について」
湯川食品科学技術士事務所 所長 湯川 剛一郎 氏
- ・「環境調和型 L-LDPE フィルム「LL-HMN」」
フタムラ化学株式会社 様（社名でのご寄稿）
- ・「インターパック 2023 に見る包装の動向」
(公社)日本包装技術協①会 包装技術研究所 金子 武弘 氏
- ・「軟包装衛生協議会の活動のご紹介」
～衛生管理自主基準・認定工場制度と改正食品衛生法～
軟包装衛生協議会 常務理事 坂田 亮 氏

1-4 第 181 号（新年 1 月発刊）

<公告>2024年度食品包装学校5月開校のご案内（パスワード無）

*食包協会報 第181号（2024年1月）のご案内（パスワード無）

日本食品包装協会 広報活動委員

吉田 恵理 氏

・「2024年新年のご挨拶」

一般社団法人 日本食品包装協会 理事長

石谷 孝佑 氏

・「第6回NextPackage2023 展示会を振り返って」

Next Package 展示会実行委員長

TOPPAN ホールディングス株式会社

大日方 野枝 氏

・「大学で食品包装研究を開始するにあたって」

日本女子大学 家政学部 食物学科

食品学・食品包装学研究室 准教授

北澤 裕明 氏

2. 食品包装セミナー

・第1回食品包装セミナー(Web開催) 6月20日(水)15:30~17:00

講演名:『パッケージデザイン デザインの制作へのAI分析活用事例について』

講演者:カルビー(株)マーケティング本部スナック2部 福原 椋太 氏

参加者:会員:19名、非会員:8名、計27名、招待9名

・第2回食品包装セミナー(Web開催) 7月19日(水)15:30~17:00

講演名:『持続可能な社会の実現に向けてパッケージにできること』

講演者:凸版印刷(株)生活・産業事業本部SX事業開発本部 高澤 宇史 氏

参加者:会員:36名、非会員:16名、計52名、招待12名

・第3回食品包装セミナー(Web開催) 10月25日(水)15:30~17:00

講演名:『企業の社会的責任を表現する包装の環境対応について』

講演者:野田治郎技術士事務所 代表 野田 治郎 氏

参加者:会員:14名、非会員:5名、計19名、招待11名

・第4回食品包装セミナー(Web開催) 11月22日(水)15:30~17:00

講演名:『内層が引き抜ける容器=スポットecoボトル、

レンジの中で立ち上がるレンジ袋=EMC RISEのご紹介』

講演者:キョーラク株式会社 パッケージング事業部

容器開発 部長

池口 尚宏 氏

化成品開発部 部長

片山 亮 氏

参加者:会員:18名、非会員:1名、計19名、招待12名

・第5回食品包装セミナー(Web開催) 2024年1月24日(水)15:30~17:00

講演名:『食品包装をめぐる環境対応について』

講演者:東洋製罐グループホールディングス株式会社

常務執行役員 調達担当 神崎 敬三 氏

参加者:会員:37名、非会員:7名、計44名、招待14名

・第6回食品包装セミナー(Web開催) 2024年3月13日(水)15:30~17:00

講演名:『コンソーシアムで目指すプラスチックの資源循環』

講演者:株式会社アールプラスジャパン

代表取締役社長 横井 恒彦 氏

参加者:会員:22名、非会員:1名、計23名、招待4名

3. 食品包装人材育成講座(初級)

*第30回食品包装人材育成講座(初級)実施(オンライン開催)

・開催日:2023年9月12日(火)、19日(火)、26日(火)の3日間9:50~16:20

・講座数:1日/5講座×3日間 合計15講座(1講座;60分)

・受講者:会員:40名、非会員:7名 合計47名

*第31回食品包装人材育成講座(初級)実施(オンデマンド開催)

・開催日:2024年1月15日(月)~2月5日(月) の3週間(5講座/週)

・1週目(1月15日(月)午前中URL送付・1月22日(月)午前中まで閲覧可能)

・2週目(1月22日(月)午前中URL送付・1月29日(月)午前中まで閲覧可能)

・3週目(1月29日(月)午前中URL送付・2月5日(月)午前中まで閲覧可能)

・受講者:会員20名、非会員2名 計22名(前回との合計69名)

4. 第2期食品包装学校運営実施

・受講生:会員13名、非会員3名 合計16名

・開校式:5月12日(金)北とぴあ カナリアホールにて開催

・5月~2月の10ヶ月間はオンデマンド配信講義

・修了式:3月15日(金)北とぴあ 1601会議室

※各講座内容につきましては以下の通りです。

・5月:『食品包装学体系と関連技術分野、食品包装概論』

●食品包装学、包装教育、食品原材料と加工・保存・包装

●食品の品質と変質、風味変化の概要

●食品の保存技術と包装技法、包装の機能と機能性包装

『金属・ガラス容器概論』(包装資材①)

●金属容器概論(歴史、原料、容器形態、加工技術等)

●ガラス容器概論(歴史、原料、容器形態、加工技術等)

●環境対応への取組み

・6月:『食品用プラスチック包装資材』

●ポリオレフィン包装資材の特性と食品用途(包装資材②)

●ナイロン・ポリエステル特性と用途(包装資材③)

●ハイバリアープラスチックフィルム(包装資材④)

■JISにみる包装資材とその理化学特性評価

- ・ 7月：『食品用プラスチック包装資材』
 - プラスチック容器の加工と利用（包装資材⑤）
 - 紙を用いた包装容器概論（包装資材⑥）
 - 段ボールの種類と特性 輸送包装設計概論（包装資材⑦）
 - 世界の包装食品と包装産業の動向
- ・ 8月：『食品の水分と微生物制御』
 - 食品包装は微生物との戦い（食品と微生物①）
 - 中間水分・乾燥食品の品質保持と包装（食品と微生物②）
- ・ 9月：●レトルト食品と包材と殺菌プロセス（食品と微生物③）
 - 無菌包装システムと包材（食品と微生物④）
 『食品の酸化・変色・匂いの変化』
 - 食品の酸化・吸湿・匂いの変化と包装（品質保持と包装①）
 - インテリジェント包装・IC タグの活用と IoT
- ・ 10月：『食品の酸化・変色・匂いの変化』
 - 食品包装は酸素との戦い（品質保持と包装②）
 - 青果物・畜水産物の包装と流通（品質保持と包装③）
 - 日配食品・惣菜類の LL 化と包装技術（品質保持と包装④）
 - 包装機械と包装器具類
- ・ 11月：●乳製品の品質特性と品質保持・包装（品質保持と包装⑤）
 - 発酵・熟成食品の包装（品質保持と包装⑥）
 - 菓子類の品質特性と包装（品質保持と包装⑦）
 - 乾燥食品の加工・防湿包装、品質保持
 - 炭素税とカーボンフットプリント、LCA と食品包装
- ・ 12月：『食品包装と法規制』
 - 包装資材の安全性の考え方とポジティブリスト制度
(食品包装と法規制①)
 - 食品安全認証の基本的な考え方（食品包装と法規制②）
 - 食品表示と包装の表示問題（食品包装と法規制③）
 - 食品包装の脱ガラパゴス化への挑戦
- ・ 1月：●包装デザインと印刷
 - ユニバーサルデザイン、アクセシブルデザインと食品包装
 - 包装資材を巡る環境関連法規制と利用の現状
 - 食品包装の未来予測
- ・ 2月：●環境配慮包装の種類と用途
 - プラスチック・リサイクルと用途開発
 - 食品包装と地球環境問題
- ・ 3月：■食品産業と食品包装の発展の歴史

《修了式》令和5年3月15日(水)14:00～（北とぴあにて）

- 食品包装学校長の挨拶と公表
- 修了証書の授与
- 成績優秀者表彰

5. 第6回 Next Package2023 展示会開催 11月9日(木)10:00~17:00

- ・会場：秋葉原 UDX ギャラリー NEXT-1 (昨年と同じ会場)
- ・展示会テーマ：「～人と技術の交流が未来を包む～」
- ・来場者数：一般参加者：205人、出展企業132人 計337名

***出展企業数：資材・包材メーカー 18社：**

東洋インキ(株)、押尾産業(株)、(株)悠心、(株)サンエー化研、日本製紙(株)
 サエス・ゲッターズ S.p.A、大日精化工業(株)、藤森工業(株)、三井化学(株)
 シグマ紙業(株)、共同印刷(株)、東洋アルミニウム(株)、四国化工機(株)、(株)フクダ
 興人フィルム&ケミカルズ(株)、(株)武田産業、三笠産業(株)、TOPPAN(株)。

***食品会社 10社 計 28社：**

理研ビタミン(株)、キッコーマン食品(株)、カゴメ(株)、日清オイリオグループ(株)
 森永製菓(株)、(株)ロッテ、味の素 AGF(株)、キューピー(株)、雪印メグミルク(株)、
 ハウス食品グループ本社(株)。

6. 第55回食品包装シンポジウム (リアル開催) 2024年2月28日(水) (10:00~16:00)

- ・参加者：会員：24名、非会員：3名、包装学校受講生：1名 計28名
- ・場所：北とぴあ 第1研修室
- ・テーマ：「食品包装技術の脱ガラパゴス化 第3弾」
- ・講演者(パネラー)：

有田設計事務所所長	有田 俊雄様
日本食品包装協会理事長	石谷 孝佑様
森永製菓(株)マネージャー	松田 和之様
TOPPAN ホールディングス(株)	坂巻 千尋様
- ・コーディネーター：日本食品包装協会理事長 石谷 孝佑様

7. 未実施事業

- ・食品包装検定
- ・勉強会
- ・見学会

以上